

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 中村 清志

- I 開催年月日 令和元年 9 月 24 日（火）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 54 分
III 出席委員等〔出席委員〕◎中村 清志 ○曾田 康司 山口 泰祐
石須 大雄 藪中 一夫 吉田 健太郎
本田 利麻 高畠 義一
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕 狩野 安郎
〔副議長〕 坂林 永喜
〔説明員〕 別紙名簿のとおり（藪下病院長は公務のため欠席）
（徳市保険年金課長は入院のため欠席）
〔委員外議員〕 角田 悠紀 林 貴文 酒井 善広
福井 直樹
〔事務局職員〕 安東 浩志 松本 武司 室川 弘昭
堀田 寛之
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第 113 号 令和元年度高岡市一般会計補正予算（第 2 号）
のうち本委員会所管分
議案第 114 号 令和元年度高岡市介護保険事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 120 号 高岡市手数料条例の一部を改正する条例
議案第 121 号 高岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
の一部を改正する条例
議案第 122 号 高岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する
基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第 123 号 高岡市印鑑条例の一部を改正する条例
議案第 132 号 高岡市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を
改正する条例
及び
議案第 138 号 財産の取得について（災害対応特殊消防ポンプ自動車）

以上、予算議案 2 件、条例議案 5 件及びその他議案 1 件の計 8 件について、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑は次のとおり。〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【議案第 113 号のうち、老人福祉費について】

○ 小規模多機能型居宅介護施設が廃止になったことに伴う、老人福祉費の国庫支出金等返還金 4,435 千円が計上されているが、廃止となった理由は。また、事業者から補助金を返してもらえる見込みはあるのか。

△ 事業者からは、当該施設は利用者の利便性に配慮して市街地エリアの住宅地に開設したが、住民との距離が近すぎてあまり利用者が集まらず、経営状況が悪化したことが廃止理由と聞いている。当該施設のスプリンクラー設置に、国の補助金を活用したが、設置から 1 年未満で事業休止となったため返還金が生じたものである。運営していた法人の経営基盤は安定しており、補助金を全額返還してもらうことに支障はないと考えている。

2 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔市民病院〕

。 「ふれあい健康フェスティバル」 の開催について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第 104 条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

。 次回の常任委員会の開催について

10 月 23 日（水）午後 1 時に開催することが報告された。

〈 委員から次のような質疑等があった。 〉

【成年後見人の研修について】

- 令和元年8月で呉西6市の連携事業である「市民後見人養成講座」が修了したと聞いている。事業を実施した所感は。
- △ 「市民後見人養成講座」は、本市を含む呉西6市が高岡市社会福祉協議会に委託している事業である。平成31年4月に呉西地区成年後見人センターを開所し、令和元年6月下旬から約1か月間、基礎研修を実施し、7月下旬から実務研修を行った。8月22日に実務研修が修了し、受講生46人に修了証を授与した。認知症などにより判断能力が十分でない方の生活を支援する市民後見人を養成する実践的な内容を学んでもらうことができ、今後につながる研修であったと考えている。
- 研修を修了された方が1日も早く市民後見人として活躍されることを期待したい。(意見)

【手術支援ロボットダヴィンチについて】

- ダヴィンチはすでに手術室に設置されたのか。
- △ 令和元年9月7日に納品され、9日に報道各社向けに内覧会を開催したところである。その後、手術室に設置している。
- 医療スタッフへの研修は行われているのか。
- △ 医師をはじめ、看護師や診療技師等への研修を順次進めているところである。
- 稼働予定日はいつ頃になる見通しか。
- △ 令和元年内に初例の手術を行いたい。
- 稼働前に民生病院常任委員に実機を見せてもらえないか。
- △ 手術室に設置してあることから、手術が行われないタイミングを見計らって、委員を案内したい。

【消防ポンプ車両の更新スケジュールについて】

- まだ更新が済んでいない消防分団のポンプ車両について、更新のスケジュールを教えてほしい。
- △ 令和元年度に2台の車両の更新を予定している。消防団のポンプ車両の更新の目安は20年としており、順調にいけば、あと1、2年ほどで20年更新のサイクルを達成できる状況にある。
- 前は、国の補助金を受けて更新したと認識している。財政難であることから国の補助を積極的に利用しては。
- △ 常備車両の更新の場合、通常は補助金を活用している。今回の災害対応特殊消防ポンプ自動車において、仮に補助申請を行った場合には、補助額が750万円となり、事業費全体の20%程度となる。これに対して、今回は、緊急防災・減災事業債を活用しており、これは、100%起債であるが、交付税措置が70%というもので、財政的に有利なものである。今後も、財政的に有利な制度を活用し整備を進めていく。

【台風後の落ち葉やゴミの処理について】

- 台風の影響で落ち葉やゴミが散乱したものを近隣の住民が掃除してくれている。

有料のゴミ袋を使用しておられるが、なにか支援策はないか。

△ 環境サービス課にご連絡いただければ、ボランティアゴミ専用袋を配付し、ゴミ収集車で収集が可能である。

○ ゴミ専用袋を事前に自治会に備蓄できるような運用も検討してほしい。(要望)

【衛生問題について】

○ 老朽化した空き家が雨漏りし、虫が湧き、ねずみが生息するという問題が生じている。このような問題への対応策は。

△ 関係部局とも協議し、なにができるかを検討していきたい。

○ 虫や害獣など、不衛生な生物の発生に住民は大変困っている。しっかりと処置をしていただきたい。(要望)

【介護職員の処遇改善について】

○ 令和元年 10 月からリーダー級の介護職員に対する処遇改善が行われると聞いている。これまでも介護職員に対する処遇改善が図られてきたと思うが、なかなか給与に反映されていない。介護職員の給与の底上げについて、どのような取り組みを行っているのか。

△ リーダー級の職員の処遇改善を目指し、特定処遇改善加算として、国から概要や予算枠が示されているところである。市内の介護サービス事業所等では、職員構成が異なることから、どのように処遇改善に反映できるか難しいという声も上がっており、申請手続きでも大きな事務負担となることが予想される。市としては、国や県に対し、2 年度の要望として事務負担が軽減される制度となるよう求めている。元年 10 月以降に各施設から具体的な相談をされるケースがあると思うが、できる限り対応していきたい。

○ 実際に介護職員の処遇が改善されるよう引き続き対応していただきたい。(要望)

【環境問題に対する取り組みについて】

○ 環境問題の中でなにが一番問題であると捉えているか。

△ 環境問題は、世界的な問題であり、1 つの自治体で解決することではないと考えている。その中で、本市では、食品ロスやプラスチックゴミの削減に対し、消費者団体等と協力し、取り組みを進めている。また、清掃美化活動にも取り組んでおり、ゴミを減らすきっかけづくりとしたい。

○ どのような考えを持って令和 2 年度の予算要求をするつもりか。

△ 食品ロスやプラスチックゴミの削減に対する取り組みについては、継続的に市民に訴えていくことが大切と考えており、それらの取り組みを継続できるようにしていきたい。

○ 他市が参考にするような先進的な取り組みを率先して行ってほしい。(要望)

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔福祉保健部〕

- (1) 地域密着型サービス新規整備事業者（令和元年度整備分）の公募について
- (2) 令和元年度高齢者インフルエンザ予防接種の実施について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（24名）

市民生活部長	梅 崎 幸 弘	市民病院長	藪 下 和 久
市民生活部次長 地域安全課長・環境政策室長	堺 啓 央	市民病院事務局長	崎 安 宏
共創まちづくり課長	室 谷 智	総務課長 栄養管理課長	新 田 裕 子
共創まちづくり課 多文化共生室長	寺 口 昌 代	医事課長	長 田 由 美 子
男女平等・共同参画課長	早 苗 伊 紀 子		
市民課長	赤 阪 典 子	消防長	寺 口 克 己
環境サービス課長	柴 野 泰 彦	消防本部次長	浦 島 章 浩
		総務課長	有 澤 智 文
福祉保健部長	鶴 谷 俊 幸	予防課長	山 口 喜 代 治
福祉保健部次長 参事	西 本 幸 夫	警防課長	布 橋 隆 男
社会福祉課長	山 本 真 弘	通信指令課長	川 端 芳 紀
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	村 上 彰		
高齢介護課長	森 川 朋 子		
保険年金課長	徳 市 直 之		
健康増進課長	山 本 美 由 紀		